



2022年1月12日

各位

会社名 寿スピリッツ株式会社
 (URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>)
 代表者名 代表取締役社長 河越誠剛
 (コード: 2222 東証第一部)
 問合せ先 取締役経営企画部部長 松本真司
 TEL 0859(22)7477

2022年3月期第3四半期の売上状況(概算)について

2022年3月期の第3四半期(2021年4月1日~2021年12月31日)の売上状況(概算)についてお知らせいたします。

第3四半期会計売上高(概算) **10,976**百万円 前年同期比 **30.6%増**(前々年同期比 **17.4%減**)
 同 累計売上高(概算) **22,935**百万円 前年同期比 **40.7%増**(前々年同期比 **35.7%減**)

●四半期別売上高

(単位:百万円)

	1Q 4月~6月	2Q 7月~9月	2Q累計	3Q 10月~12月	3Q累計
前期	2,716	5,189	7,905	8,402	16,306
当期	5,758	6,200	11,959	10,976	22,935
増減額	3,043	1,011	4,054	2,575	6,629
前年同期比増減率	112.0%	19.5%	51.3%	30.6%	40.7%

(ご参考:前々年同期比増減)

(単位:百万円)

	1Q 4月~6月	2Q 7月~9月	2Q累計	3Q 10月~12月	3Q累計
前々四半期	10,627	11,761	22,388	13,287	35,675
増減額	△4,868	△5,560	△10,429	△2,311	△12,740
増減率	△45.8%	△47.3%	△46.6%	△17.4%	△35.7%

●セグメント別売上状況(概算)

(単位:百万円)

	3Q(10月~12月)				3Q累計(4月~12月)			
	当四半期	前四半期	増減	増減率	当四半期	前四半期	増減	増減率
シュクレイ	4,249	2,710	1,540	56.8%	8,507	4,969	3,538	71.2%
ケイシイシイ	3,368	2,713	655	24.1%	7,475	5,502	1,973	35.9%
寿製菓・但馬寿	2,304	2,128	177	8.3%	4,713	4,016	696	17.3%
販売子会社	1,085	890	194	21.8%	2,223	1,643	580	35.3%
九十九島グループ	1,020	850	170	20.1%	2,063	1,579	485	30.7%
その他	155	122	33	26.8%	374	372	2	0.5%
小計	12,181	9,412	2,769	29.4%	25,355	18,081	7,274	40.2%
(調整額)(注1)	△1,205	△1,011	△194	19.2%	△2,419	△1,774	△645	36.4%
合計	10,976	8,402	2,575	30.6%	22,935	16,306	6,629	40.7%

(ご参考：前々年同期比増減)

(単位：百万円)

	3 Q (10月～12月)				3 Q累計 (4月～12月)			
	当四半期	前々四半期	増減	増減率	当四半期	前々四半期	増減	増減率
シュクレイ	4,249	4,922	△673	△13.7%	8,507	12,752	△4,245	△33.3%
ケイシイシイ	3,368	3,673	△305	△8.3%	7,475	9,444	△1,970	△20.9%
寿製菓・但馬寿	2,304	3,178	△874	△27.5%	4,713	8,956	△4,243	△47.4%
販売子会社	1,085	1,743	△658	△37.8%	2,223	5,073	△2,850	△56.2%
九十九島グループ	1,020	1,347	△327	△24.3%	2,063	3,665	△1,601	△43.7%
その他	155	178	△23	△13.1%	374	639	△265	△41.4%
小計	12,181	15,042	△2,861	△19.0%	25,355	40,529	△15,175	△37.4%
(調整額) (注1)	△1,205	△1,754	550	△31.3%	△2,419	△4,854	2,435	△50.2%
合計	10,976	13,287	△2,311	△17.4%	22,935	35,675	△12,740	△35.7%

(注) 1. 調整額は、セグメント間の内部売上高であります。

2. 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。過年度の数値については、当該会計基準等の適用前の金額であり、増減額及び増減率につきましては、当該数値により算出したしております。

[補足説明]

当第3四半期会計期間 (10月～12月)

当第3四半期会計期間 (10月～12月)の事業環境は、依然としてインバウンド需要は消失しているものの、9月末の緊急事態宣言解除により移動制限や外出自粛が緩和され、回復基調で推移いたしました。その結果、当期間の売上高(概算)は、前年同期比30.6%増(前々年同期比17.4%減)の10,976百万円となる見込みであります。

月別の売上高(海外子会社除く)は、10月が昨年実施された政府の消費喚起策も無かったことで前年同月比1.3%増(前々年同月比33.3%減)と伸び悩んだものの、徐々に人出が回復してきたことにより11月が同25.2%増(同22.1%減)、12月が同51.5%増(同4.1%減)となり、特に最繁忙月である12月は、帰省回復も追い風となり、直営店・催事・通信販売など主要販売チャネルにおいて新商品及び限定商品の投入など需要喚起に向けた施策推進が奏功したことにより、堅調に推移いたしました。

セグメント別では、「シュクレイ」及び「ケイシイシイ」が、通信販売及び首都圏での販売強化などにより、前々年同期比で見ると他のセグメントに比べ減少幅は小さく推移いたしました。

当第3四半期累計期間 (4月～12月)

当第3四半期累計期間 (4月～12月)の売上高(概算)は、前年同期比40.7%増(前々年同期比35.7%減)の22,935百万円となる見込みであります。

[業績予想について]

2022年3月期通期の業績予想につきましては、本資料の公表時点では、2021年11月4日公表の業績予想からの変更はありません

なお、当第3四半期決算発表は、本年2月3日(木)を予定いたしております。

以上